

末廣鐵腸 つとむら 小説家、政論家、政治家。嘉永二年二月二十一日得
豫國生れ、明治二十九年二月五日歿（二八男一孫）。本名重恭、字子浚、
幼名雄二郎。別號橫象居士、浩齋、藤園情史、虎門居士、金陵居士、
鐵腸子、鐵腸居士、鐵腸生、鐵腸病夫、鐵腸醉士等。藩費明倫館、學
び、明治二年教授。七年大藏省出仕、翌年「東京曙新聞」、次で「朝
野新聞」に入り論議長も、筆禍に遭ひ成爲柳北と共に下獄。のち自由
黨参加を経て馬場辰猪等と獨り黨を組織、また政治小説を次々に發表
して人氣を博した。二十一年外遊、二十二年新聞「國會」を創刊主宰
し、第一回衆議院議員となる。

著書「日本演説大家集（初篇）」（本名、合著・坂田哲太郎編、明治十
四年二月漸進堂）、末廣雙竹著「懷然集」（内題「雙竹先生遺稿」同
校、明治十七年二月、無刊記）、「明草論新編」（同、合著・栗田素
一編、明治十七年二月樂成舎）、「二十二年未來記」（同、明治十九
年五月博文堂。異版・六月伊隨又七刊、同月小幡菅茂續出版・松成堂、

同月神先治郎助反刻、東京同「鶴聲堂」發兌、同月文字新藏續刻出版、
圖書房「文盛堂」

十月大阪・高峰虎治郎續刻出版、大阪共同書肆發兌、同月四版伊隨又
七續刻出版、高橋半二郎發兌、十一月大阪・赤松市太郎續刻出版、駿
騷堂）、政治「小説「雪中梅」全二冊（上編・明治十九年八月、二十七頁、下
編・十一月二十日博文堂）、時事「小説「落葉之掃帚」（内題「落葉のはき
寄せ」明治二十年二月金櫻堂）、政「小説「花間鶯」全二冊（上篇・明治



二十年四月、下篇・二十一年二月月刊、金港堂發
兌）、現今「大家演説論集」（本名、合著・柳原政登
編、明治二十年八月蕙志堂「講談演説集」）、現

今の政事社會』(明治二十年七月十日博文堂)、
政治社會大家演說集』

(本名、合著、明治二十年十一月五日澤島大郎編輯、
小林喜左衛門飯田書店發兌)、

ヅキクトル、チツソリ著・シヨージ、デー、コック大英譯・大眼十重
インスタン、アメロリ著・シヨージ、デー、コック大英譯・大眼十重

譯政事上の千重風煙(上編)』(山村大囚居士共補述、明治二十一年)

年(二月)二十二月博文堂・文政堂、
翰香堂・仙鶴堂、敷文館發兌)、
雜誌大家實地演說集』

(本名、合著・櫻井鎌造編、明治二十一年二月一日石川博吉刊、正文

堂發兌)、
政治小説『雨前の櫻』(明治二十一年八月二十二月博文堂、
春陽堂)、

『鴻雪録』(再版・明治二十一年十一月一日自刊、
博文堂、春陽堂)、
國會

開設之前後』(明治二十二年十月十二日春陽堂)、
鐵腸過去の政海』

(明治二十二年一月一日青木嵩山堂)、
慘風悲雨世路の残月』(津陽散

士編、明治二十四年十一月八日愛知・千城社)、
雪中梅と花間鶯』

(大正七年二月五日明文館書店)、
南洋物産の旅行』(大正七年二月

五日磯部甲陽堂)、
雪中梅』(小林智賀正校訂、昭和二十七年四月

五日岩波書店、『岩波文庫』)等。